

けやき 櫂 の ころ 魂

村西空手道部通信 第4号(令和5年8月10日)

【中学校空手道奨励大会、無事終了】

去る7月30日、中学校空手道奨励大会第一回^{けやき}櫂杯が無事終了しました。中学校の体育授業に空手道を普及させるための一助になればと思い企画した大会です。好評のうちに終了できたことにほっとしています。参加選手は47名でした。選手はじめ、関係者の皆様ありがとうございました。

中学校では武道の必修が平成24年度から完全実施されています。昨年、私は近隣市内にある2つの中学校で空手の授業を実施しました。今年度も、別な2校で9月以降に空手の授業を実施する予定です。

武道は中学校では負担に感じている様子が見られます。ほとんどの学校で柔道または剣道を実施していますが、専門の先生が少ないのが理由です。また、柔道の場合は床に畳を敷く手間がかかります。そのうえ柔道着を準備しなければならずお金もかかります。

空手は準備するものは何もありません。剣道は竹刀が必要ですが、空手はまさに徒手空拳なのです。とはいっても、専門の先生が見つからないのは柔道以上かもしれません。そのため、中学校では武道授業で空手という発想は出てきませんが、実際にやってみると生徒は大喜びです。やはり、体験に勝るものはありません。

空手の良さはコロナ禍の中でさらに広まりました。身体接触が少なく済むのです。一つ一つの基本動作がきびきびしていて、突くときは気合を入れます。大きな声をお腹から出して、全員が突きを繰り返す動作は迫力があり、爽快そのものです。

私は、このようにスッキリ感のある空手を多くの中学校へ広めていきたいと考えています。そのため、声がかかればどこへでも授業に出かけています。そして、学んだ生徒さんには今回のような大会で技を披露してほしいと思います。気軽に空手に親しみ、気軽に発表できる場を作っていきたい。そのように考えています。来年も実施します。5月ごろには本校のホームページに要項を発表します。個人でも申込みます(要保護者引率)。どうぞ、ご活用ください。本大会は全国につながる選考会とは違い、アットホームな雰囲気の中で自分を演技することができます。参加費はかかりません。みんなで空手を楽しみましょう。なお、今回の大会結果は、9月23日発売予定のJKFanという雑誌に載る予定です。知っているお友達が載るかもしれませんよ！

※ 中学生のみなさんへ：

本校では中学生の体験を気軽に受けつけます。今年4月に立ち上げた空手部は3人しかいません。全員が毎回出席するわけでもなく、本格的になるには時間がかかりそうです。まだまだ未熟な本校で空手に挑戦してみたいと思う生徒を歓迎します。君たちが本校の空手部を本格的に創ってくれることを期待します。特に、未経験者は大歓迎です。丁寧に指導しますのできっと強くなります。3年後にはみんなで、関東選抜など出てみたいですね……